

# 月刊

2013年(平成25年)  
12月 Vol.162  
大阪府議会議員 活動報告書

1997年6月創刊  
1997年6月～9月：週刊  
1997年10月～：月刊  
発行部数累計：1,845,137部

ただいま活動中！  
土井達也

はっきりに発言！  
しっかりと報告！

大阪府議会議員  
商工労働常任委員会  
府議会 大阪維新の会  
副政調会長

土井達也Webサイト  
<http://www.tdoi.net/>  
100,120人

執筆・印刷：土井達也事務所  
住所：〒599-0201 大阪府阪南市  
尾崎町93-6尾崎山手ビル2F  
TEL：072-471-7357  
FAX：072-471-8004  
E-Mail：t.doi@nifty.com

OTKの詳細については、  
12月31日に、  
新聞折込をする予定です。  
ご覧下さい。

## ホームページ10万人突破にあたり

ホームページの来場者数が、10万人を超えました。ご活用頂き、誠にありがとうございます。

今から13年前、2000年12月から、いろんな方に助けて頂きながら、自分でホームページを作り始めました。

目的は、議会の情報をみなさまと共有して、ご意見を頂戴し、それを施策に反映させていくという循環を作るためでした。当然、この目的は、今も変わりません。

さて、当初は、回線はふつうに電話回線でした。この13年間で、ネットの世界は激しく変化しました。個人でネット生中継をするのも、スマホで簡単にできる時代となりました。

しかし、この10万人を超えた節目で、改めて考えてみたのですが、ネットがお手軽になった反面、自分のブログなどは、内容が軽すぎて、よくてメモ書き、ほとんどはメ



## 平成25年も、年の瀬に

今月は、阪南でも初雪が降りました。年内の初雪は、あまり経験がないですね。そして、冬至も過ぎました。今年も、あとわずか。

OTKの問題、袂を分かった4名、自分自身の感情の振幅が非常に大きな1ヶ月でした。

モ書きにもならず、まったく使えない。

私の目的である議会の情報をみなさまと共有して、ご意見を頂戴し、それを施策に反映させていくという循環を作るためには、市議時代の「つれづれ日誌」が最善の手法であったのではないかと思います。

重要な点は、スタート地点の「共有する情報」であり、うまく表現できないのですが「正確な情報」というか、価値判断が分かれるポイントとなる資料で正確なもの。これは決して不都合な真実を隠した恣意的な情報とか誘導するための情報という意味ではなく、また膨大な行政資料でもなく、実際はその中に埋もれているのですが、独立した個人が自ら価値判断を行えるポイントとなる資料という意味です。

スタート地点の「共有する情報」が甘くなっていたことを反省材料として、今後、精度を上げていきたいと存じます。今後とも、ご愛顧の程、宜しく申し上げます。

# OTK 大阪府都市開発株式会社

詳細や本当の核心部分については、12月31日に予定をしている新聞折込「ただいま活動中！Vol. 163」をご覧ください。

来年の2月に、大阪府から売却方法など再度提示があります。今回は否決となりましたが、今後も、民間売却は続きますので、OTK（大阪府都市開発株式会社）について、基本事項も含めて、確認をしておきます。

## まず、「OTK」って、どういう会社か。

10円と80円の料金値下げの違いが連日報道されたので、「泉北高速鉄道」という事業を行っていることは、ご承知の通りです。南海高野線に乗れば分かりますが、中百舌鳥駅から和泉中央駅までの6駅、全長14.3kmの区間を営業しています。

これ以外に、東大阪流通センターや北大阪流通センターといって、トラックターミナルや流通倉庫、配送センターなども営業しています。

その他に、飲食店舗や不動産業などのグループ会社も保有しています。

資本金は、40億円です。資本金を出資している会社などは、大阪府、大阪ガス、関西電力、りそな銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行の6社。いわゆる第三セクター。

どのような利益を出しているかということ、鉄道事業の2倍以上の営業利益を流通センターの物流事業で上げています。特に、東大阪流通

センターです。

## 次に、なぜ、民間へ売却するのか。

この点については、過去から議論が二分しておりました。1つは、大阪府等で保有し続けるべきだという意見。もう1つは、民間に売却すべきだという意見。

橋下知事時代に議論が加速し、民間でできるものは、民間でやってもらおうと。そして、現在OTKで出資して動かすことのできない税金を、OTKを売却することで、その得た収入を大阪府の別の事業に再投資していき、大阪府内の活性化につなげていくという方針で、OTK株式を民間へ売却することで決着しました。

## そして、今回の公募へ。

今回の公募といいましても、平成24年2月定例会で、株式売却の関連業務の予算を付けて、昨年7月に入札をして監査法人を決め、株式の評価から手続の事務作業などが続けられ、昨年11月に株式売却先選定委員会を発足させ、今年に入り、6月に「要項」を発表して、やっと資格審査。資格審査通過者の6社が、本審査に進む資格を与えられ、その内3社が本審査に名乗りを上げました。提案方式の公募で、どういう提案に対して、どういう点数配分になるのかは、事前に要項で示されています。ちなみに、要項はHPで同時に府民にも公開。価格点70点、提案点30点（内、経営方針10点、鉄道事業利便性向上15点、トラックターミナル等運営方針5点の合計30点）。

詳細や核心部分は、12月31日の新聞折込で。

**それでは、よいお年を！**